

新型コロナウイルス感染症対策

Part2

－現場で必要な対策がすべて分かる－

現場で培ったノウハウをお伝えする安全な介護が、動画セミナーを配信中！
5月のPart 1 に続き現場対策を一層強化！

今すぐ抜粋版（13分）を試聴しよう！

●PC版 → <https://youtu.be/SecAuUHIPHU> ●スマホ版 →



動画セミナー提供方法

- 提供対象：介護事業者団体・介護事業法人など
- 視聴期間：1ヶ月間～3ヶ月間
- 提供資料：セミナーテキスト・付属資料
- 視聴開始：任意の期日を設定できます
- 提供価格：介護事業者団体50,000円＋消費税
介護事業法人40,000円＋消費税

動画セミナー視聴までの流れ

- ①申込書を弊社宛メールで送付
申込書は弊社ホームページで：www.anzen-kaigo.com
- ②弊社より主催者にセミナー視聴ツールを送付
URL・QRコード・パスワード・セミナーテキスト・付属資料
- ③視聴者にURL・QRコード・パスワードを案内
- ④参加者はパソコンやスマホでセミナーを視聴

「新型コロナウイルス感染症対策・Part2」の概要

1. 新型コロナウイルス感染症の知識
2. 過剰な対策とムダな対策を見直す
 - ・新型コロナウイルス感染症対策の現状（調査）
 - ・こんな対策がなぜ必要なのか？
3. 新型コロナウイルス感染症対策のポイント
 - ・感染経路別に対策を区別する
 - ・場面別に対策の方針を明確にする
 - ・感染未発生時と感染発生時の対策方針
4. 入所施設の新型コロナウイルス感染症対策
 - ・感染未発生時の対策
 - ・感染疑念者が発生した時の対策
 - ・感染発生時の対策

※本セミナーでは新型コロナウイルス感染症を「新型コロナウイルス感染症」と表記します

■セミナーテキスト（手持ち資料）の例

●こんな対策がなぜ必要なのか？

マスクを付けていない利用者と2m以内で会話をしている時は、サージカルマスクを付けてフェイスシールドを着用する

フェイスシールドは何のための用具？

給湯洗浄で飛沫が飛ぶおそれがある時は、ゴーグルかフェイスシールドを着用する

ゴーグルは何のための用具？

●ムダな対策が多い理由

①感染未発生時の段階で感染発生時の対策を実施している

- ・タブレットの消毒を1日5回アルコールで消毒している
- ・1日3回手指消毒の差を付けて実施している
- ・介助の前後手袋を替えている

②対策の効果を確認せずに実施

- ・食事介助では職員はシールドマスクをして手袋を着用する
- ・食事後では利用者の腕にアルコールを塗布して清潔にしている

③自治体からのプリント外れの指示で仕方なく実施

- ・利用者と言わず時はフェイスシールド着用
- ・給湯洗浄ではゴーグル着用
- ・身体介護は手袋とエプロンを着用

4. 入所施設の新型コロナウイルス感染症対策

● 平常時と感染発生時の対策を明確に分ける

病院の院内感染防止対策

感染発生時
感染拡大防止対策
感染対応非常態勢

感染発生警戒態勢
【感染疑念者の職員発生】

非常事態移行
迅速な感染確認
濃厚接触者対策
感染拡大対策準備

感染拡大防止態勢
【感染未発生時】

ウイルス侵入対策
職員の感染防止対策
感染者発生準備
感染標準予防策

レベルアップ

レベルアップ

レベルアップ

■主催者に提供する付属資料「現場作成ツール」

- ①職員感染時の施設の対応（家族向け）
- ②介助場面での感染防止のために
- ③感染時重篤化予測指標と対応方法
- ④「感染したかも！」と思ったら（職員向け）
- ⑤基礎疾患を持つ職員への配慮

動画セミナーに関するお問い合わせは

株式会社安全な介護 受付担当 澤田

mail:soudan@nanasha.co.jp TEL:03-5995-2275